

アイリスLetter



2014年12月20日発行
第8号
広島女学院中学高等学校

保護者の皆様へ

12月になって寒さが厳しくなってきました。生徒達は毎朝夕、薄暗い中を登下校する日々が続いています。17日には夜から続いた雪のせいで朝には市内も真っ白になり、交通機関には大きな乱れが出たため、授業開始を遅らせ短縮授業とし、午後の活動は中止としました。この日は私も車通勤をやめて徒歩で学校へ向かいました。市内のどこも真っ白に雪化粧しており騒音も吸収されて音も静かなので、しんとした真っ白な校庭を予想しながら学校に来ましたら、生徒達の楽しそうな笑い声が響き、グラウンドは生徒達の走り回った足跡だらけです。寒い寒いと身を縮ませている大人と違って、生徒達は本当にうれしそうにこの雪の到来を感動さえもって受け入れているようでした。中学生だけではありません、高校生もグラウンドに出て、手を真っ赤にしながら雪合戦や雪だるま作りを楽しんでいました。

学校では期末テストも終わり、テスト返却、成績処理、面接と忙しい日々が続きます。高校3年生は受験に向けての日々が本格的にスタートするのを控え、人生の選択の心引き締まる時期を迎えています。そうした中、校内では終業の日に行われるクリスマス礼拝に向けての準備も進み、中学生は讃美歌コンクールのために各クラスが最後の仕上げにがんばっていました。寒風の中、放課後校庭から響いてくる思いがけない讃美歌練習の美しいハーモニーに、教職員も道行く人々も一瞬足を止め、クリスマスの近いことを味わっています。高校生も「映像によるクリスマス礼拝」の準備を進め、例年のように全員で合唱するヘンデルの「ハレルヤ」の練習に意欲的に励んでいます。このように様々な場面で女学院生の生き活きた学校生活を見る事が出来るのは恵まれたことです。先日ノーベル平和賞の授賞式があり、自分の命をかけて女性が教育の場を与えられる事を訴えている17歳のマララ・ユスフザイさんが受賞しました。彼女は「なぜまだ世界に1冊の本と1本のペンを求める子ども達が多いのか。彼らが欲しいのは学校。」と会見で述べていました。学校と言う存在の意味を考えさせられることばであり、そこに対する期待の大きさを感じさせられる重いことばであると感じました。また学びの場を与えられた者に対する期待のことばでもあると思います。学校教育を受けている者たちが、やがて社会に出て行く時、全てのこども達が学びたい時に学ぶ機会を与えられるような平和な社会を作り出す力となれる事を念頭において、日々の学びに向かってほしいと思われました。

今年一年色々なことがあり、皆さま方にご心配をおかけすることもございましたが、様々な場面でお支え頂いた事に感謝しております。皆様の上にクリスマスの恵みが豊かにございますようお祈りいたします。

聖書の言葉

「闇の中を歩む民は、大いなる光を見 死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。」

旧約聖書イザヤ書9章1節
(校長)

第 37 回 高校英語スピーチ&

プレゼンテーションコンテスト

高1・高2によるコンテストは今年で第37回を迎えました。今年は強調週間と同週という過酷なスケジュールでしたが、準備期間が短い中、どの生徒も入念に準備し、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。自分の経験や意見を堂々と語り、聴衆側の生徒もとてもよく聞き、反応していました。高1のスピーチは幅広いトピックを、表現力豊かに発表しました。高2はパワーポイントを使ったプレゼンテーションを行いました。

ゲスト審査員のピーター・ゴールズベリー氏（広島大学名誉教授）からは、「非常に質が高い。来年にまた期待したい。」とスピーチ、プレゼンテーションともに絶賛していただきました。

司会、音響、照明もすべて生徒の手で運営し、聴衆生徒も一体となって、生徒全員で支え、作り上げるコンテストとなりました。

出場生徒、審査結果は以下のとおりです。

【高2】

- I・A(2-A) Human Interaction
 - T・A(2-B) How to Survive a Disaster
 - A・K(2-C) Deep-Sea
 - C・Y(2-D) The Truth about 'Half'
 - K・A(2-E) Our Earth to Protect・・・
- Best Overall Presentation (最優秀賞)

【高1】

- M・H(1-A) Illusion
 - M・M(1-B) Happiness・・・
- Best Overall Speech (最優秀賞)
- K・A(1-C) Let It Go!
 - N・M(1-E) Speaking Face to Face
 - M・A(1-E) Our Mission

(英語科)



論理エンジン講座

11月1日(土)と22日(土)の2日、図書館で「論理エンジン」の開発者出口 汪^{でぐちひろし}先生による「論理力育成講座」が行われました。

昨年までは、女学院大学を会場に本校中学3年生から高校2年生、そして他校生も参加しての講座でしたが、今年の高3の20数名が国公立二次試験の問題を用いて記述答案作成の指導を受けました。小林秀雄の評論など難問に挑む生徒にむけて、熱気あふれる授業と丁寧な個別指導をしていただきました。

高い志をもってがんばる高3生、この講座で学んだことを胸に、受験で戦える論理力を身につけてください！



(国語科)

乾燥地研究を巡る鳥取ツアー

(11/23~11/24)

地球上の陸地の4割は乾燥地で、乾燥地にある国々の多くは貧困や食料問題を抱えています。乾燥地の実際を学ぶと同時に、乾燥地の諸問題を解決し平和を実現するためにどのような研究がされているか、乾燥地研究に力を入れている鳥取大学および鳥取県の企業に生徒を派遣しました。参加生徒は自然科学や環境問題に興味がある6名(中3:2名、高1:2名、高2:2名)です。

訪問先は、鳥取砂丘、鳥取大学乾燥地研究センター、鳥取大学地域学部、北栄町の風力発電施設、鳥取再資源化研究所です。大学教授の講義を受けたり、大学院生および企業の研究者の思いを聞くことができました。また、

参加生徒も積極的に質問し、充実した交流会となりました。詳しい内容につきましては、本校 HP のブログ「SGH 今週の実践」で写真付きで報告してあります。是非ご覧ください。



乾燥地研究センターにて
(大学院生の柴田雅史さんに説明して
いただいている様子)
(グローバル教育推進部)

保健室だより (8)

～冬休みこそ、からだところをリフレッシュ～

12月1日は、世界エイズデーでした。高校では、助産師さんによる「自分の体をまもるために」というお話をさせていただきました。12月18日には、高校2年生以上の生徒と教職員対象の日本赤十字社と高校保健委員会による献血活動がありました。献血人数は、減少してきましたが(1998年☞受付人数120人・200m1献血実施者☞89人・400m1献血実施者☞8人；2013年☞受付人数47人・200m1献血実施者☞18人・400m1献血実施者☞11人)その中で学ぶものは多いようです。

日頃から、自分のからだをまもるために、考え、行動していく習慣をつけたいものです。

思春期には、多くの課題があります。バランスのとれた食生活、コンピューターなどを使用している時間、薬の適切服用、レクリエーションと学習とのバランス、睡眠と運動のバランス、他者との距離のとり方など多くの課題があります。それぞれが自分らしく、自己実現をするには、日頃から、心にも栄養が

必要です。保健室では絵本も準備していますので利用してください。

冬休みこそ、与えられた時間の中で、自分なりの方法を試行錯誤しながら、健康管理に努めましょう。

高校3年生のみなさんも、もう少しです。Chest Up の精神で、運動、食事、睡眠のバランスをうまくとりながら、ハツラツとのりきってください。

(保健室)

心の健康 (8)

ストレスの多い年末年始です。クリスマスや年末行事で忙しい日が続きます。このような時こそ家庭でひと工夫して心身の健康に気をつけたいものです。

気忙しいこの時期は、意識して、運動を毎日の生活の中に入れてみましょう。人の心と体はうまくつながっています。運動は体の方から心に働きかけることとなります。意識的に体を動かすことで機能も血液の循環も良くなり、爽快な気分となり、ストレスも自然に解消します。

(カウンセラー)

生徒の活躍

《中学》

◇中学卓球部

*広島市中学校新人卓球大会区大会

団体

Aチーム 2位

Bチーム 2位

個人 2-3 O・N 4位

◇中学バレーボール部

*平成26年度広島市中学校新人

バレーボール中区大会 第3位

(市大会出場権獲得)

◇個人

*第58回 JA 共済広島県小・中学校書道
コンクール 条幅の部

努力賞 3-4 K・A

*第82回全国書画展覧会書の部

金賞 2-2 S・H



《高校》

◇高校バスケットボール部

*新人戦地区予選

1回戦 女学院 79-67 沼田

2回戦 女学院 56-83 廿日市

◇高校放送部

*放送文化コンクール中部地区大会

アナウンス部門

2-C O・N

1-E M・A

朗読部門

2-E S・A

1-C M・H

1-D U・K

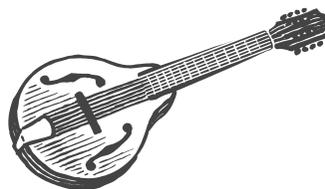
(以上、5名が県大会出場)

《中高》

◇中高マンドリン部

*第37回広島県中高ギター・マンドリン
フェスティバル

優秀賞
朝日新聞社賞



◇個人

*2014年 修道大学作文コンテスト
テーマ「地域の魅力」

中学生の部 佳作 3-1 H・M
2-4 S・H

高校生の部 最優秀賞 2-A K・N
佳作 2-D K・M
佳作 2-E A・N
佳作 2-D M・M

上記コンクールにおける校内選考での入賞者

中学生 最優秀賞 3-2 K・S

優秀賞 3-3 K・K

3-3 M・A

3-3 M・M

高校生 最優秀賞 2-A K・N

優秀賞 2-C I・S

優秀賞 2-D K・M

佳作 2-D M・M

※「生徒の活躍」について

この欄は、部活動・同好会の大会・試合結果等を掲載しています。個人については主催団体より学校に直接報告があったものを中心に、個人の報告によるものを載せています。報告は担任を通じて書面でお寄せ下さい。内容検討の上、掲載いたします。

教員の活躍

○安宅弘展先生

歴史能力検定日本史一級合格（三年連続）

「日本史修士」称号取得（山川出版社）

今月の聖句

彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。

(マタイによる福音書2章9～11節)

子どもたちにとってクリスマスと言えばサンタクロースからプレゼントをもらう日ですが、幼子イエスに博士たちが贈り物を捧げたこの物語にちなんで、また神様からのプレゼントであるイエス様の誕生に感謝して、キリスト教ではクリスマスに助けを必要としている隣人にプレゼントを贈ります。

女学院でも、飢餓や病気に苦しむ途上国や難民の人たち、寒空の下で眠るホームレスの人たち、お父さんお母さんと暮らせない子どもたちなどへの贈り物として、クリスマス礼拝の中で献金を捧げます。もらうだけのクリスマスではなく、捧げるクリスマスを通して、本当のクリスマスを共にお祝いしたいと思います。

(聖書科T. M)



1月行事予定

1	木	元日
2	金	特別休暇
3	土	特別休暇
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	始業の日 選択科目2号用紙提出 休み明けテスト(中3、高1・2) センター対策授業
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	休み明けテスト素点確認 センター試験
18	日	高1・2模試(進研)
19	月	センター試験自己採点
20	火	高3登校日 卒業記念礼拝・特別礼拝 午前40分授業4限まで 1限8:40～ (礼拝 1～3限授業) 午後入試準備
21	水	①入試 生徒休日
22	木	
23	金	
24	土	英語検定(午後)
25	日	
26	月	国公立大学2次試験出願(2/4まで)
27	火	①ア셈ブラリー(立会演説会)
28	水	
29	木	① LHR(立会演説会)
30	金	1～3限 土曜授業 女学院大学入試(高校4階)
31	土	高1・2進研プロシードテスト(希望者) 中3 Z会アドバンステスト(希望者) 新入生オリエンテーション①